

## 第15回 印旛沼流域環境・体験フェア に出展しました

平成29年10月28日（土）、「第15回印旛沼流域環境・体験フェア」が佐倉市の佐倉ふるさと広場向かい側の広場で開催されました。29日（日）も開催の予定でしたが、台風22号襲来による荒天が予想されたため、残念ながら中止となりました。

印旛沼は、印旛沼周辺や京葉地域の広い範囲で、農業用水、水道用水及び工業用水として利用されている千葉県の大変な水がめですが、水質汚濁など多くの課題をかかえています。

このフェアは、千葉県・印旛沼流域水循環健全化会議の主催により、印旛沼の持つ魅力を発信し、印旛沼への関心を深め、印旛沼の水質改善等への機運を高めることを目的として、毎年開催されているものです。

各ブースには、千葉県、流域市町、市民団体、関係団体、大学や研究機関などが出展し、環境への取組等の紹介が行われました。また、さまざまな体験型ブース、ステージイベント、Eボート乗船体験、周辺地域の名製品の販売も行われ、大人から子供まで多くの皆さんが楽しまれました。



（にぎわうフェア会場）



（ゆるキャラ大集合）



（Eボート乗船体験）

千葉用水総合管理所も、「印旛沼の水管理」、10/22～23に千葉県に大雨をもたらした「台風21号における洪水排水」、「印旛沼開発の歴史」などのパネルを展示し、来場の皆さんに説明を行いました。皆さんからは、「印旛沼の水利用のための水位管理や洪水時のポンプ設備運転による排水について、初めて知りました」、「ポンプ設備がないと、洪水時は大変なことになってしまうんですね」などの声が聞かれ、印旛沼の水管理の認知が低いことを実感しました。

今後も、このような機会やホームページ等を通じて、印旛沼周辺や千葉県にお住まいの多くの皆さんに、「周辺の田畑（農業）」、「県民の生活（水道）」、「県の産業（工業）」を支える「印旛沼」について関心を持っていただくよう、わかりやすい説明に努めていかなければならないと改めて感じました。



（千葉用水総合管理所ブース）